

和島地域

良寛が貞心尼と出逢い、穏やかな日々を過ごした和島。

慈愛の心にあふれ、自然の中に生きた良寛の面影が今なお残る安らぎのまちです。

道の駅 良寛の里わしま

詳細マップ裏面

人々に慕われ、自然の中に生きた良寛さんの心を感じる道の駅。

道の駅「良寛の里わしま」は、訪れる人を良寛さんのぬくもりと真心でもなす道の駅。良寛の多くの遺墨を展示する美術館や地域の郷土料理を提供するお食事處、地域の特産品を堂に集めた物産コーナー、道の駅限定のスイーツが楽しめるカフェも併設している。



佐渡まで日本海が一望できる

和島オートキャンプ場

日本海を望む高台に位置するキャンプ場。天気の良い日は、丘の上から美しい夕景が楽しめる。海水浴・釣りなど海のレジャーには抜群の立地。キャンプサイトやバンガロー完備。



新潟県の名水に選ばれた靈泉井戸神様

開基500年以上の歴史を持つ乗光寺の尊像に由来する靈泉。かつては眼病に効くとされ、治療に通う人もいたと伝えられている。地元では「井戸神様」の名で親しまれている。



春、深紅の椿の花が咲き乱れる

椿の森(良寛歌碑)

小さな森の中にある熊野神社は、椿が周囲を囲うように群生して「椿の森」と呼ばれている。良寛がここを訪れ詠んだ歌碑が建っている。



南北朝時代に築かれた城跡

村岡城跡

鎌倉時代の築城とされる城跡。妙法寺と同じく蓮ゆかりの史跡。雪割草などの群生地ともなっており、地元住民グループにより里山の自然を楽しむ遊歩道が整備されている。



日蓮上人の高弟・日昭上人によって建立された日蓮宗の本山

妙法寺

日蓮宗の本山。鎌倉時代末期、徳治元年に日蓮上人の高弟六老僧の高僧人が創立。鎌倉名刹（現在の横浜市戸塚区）の妙法寺が旧跡。平成18年に開創700年の法要が開かれた。境内には七堂伽藍があり鎌倉時代からの歴史と風格を今に伝えている。さらに日蓮宗本尊四天王のうち二天王がまつられている。二天門（赤門）や、石段を上ると木造茅葺の四脚門（黒門）があり、両門とも長岡市の指定文化財となっている。



特産品

清冽な水と空気に育まれ、じっくりと醸された地酒

和島の地酒

漫画、テレビドラマ「夏子の酒」のモデルとなった酒蔵、良寛さまゆかりの酒蔵が伝統の塞造りでじっくりと手間をかけ仕込んだ地酒。和島にある2つの蔵元に越後杜氏の魂が宿っている。

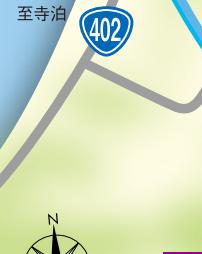


和島地域のマスコットキャラクター“わしまろくん”。和島地域の魅力のPRを行っています。

至寺泊

402

櫻木川



和島

集落案内看板

※この看板を自印にすると
大変便利です。

至柏崎

443

阿弥陀瀬大杉



69

小島谷川

443

阿弥陀瀬トンネル

443

至長岡

与板城跡

443

阿弥陀瀬大杉

443

阿弥陀瀬トンネル

443

至長岡

443

阿弥陀瀬大杉

443

阿弥陀瀬トンネル

443

至長岡

はちすば通り

Hachisuba Avenue

良寛と貞心尼が出逢い、
清らかな師弟愛を育んだ小路。

はちすば通りのある和島の島崎地区は、良寛が尼僧貞心尼と出逢った場所として知られている。この通り沿いに正門を構える本村家の小屋で良寛は晩年を過ごした。同家の菩提寺の隆泉寺に良寛の墓碑がある。良寛を知ることのできる史跡が点在するこの通りを訪ね歩くと不思議と心が満たされる。

詳細マップ裏面



和の粋をこらして築かれた名園

住雲園

越後道（現在のJR越後線）の創業者、久須美親子の邸宅。享保2年（1717年）、16代六郎左衛門政信により築かれた天下の名園。園内には全国から集められた巨石や灯籠が配置されており、樹木の配置の妙を極め、樹間に弥彦山を望むことができる。



観賞できる自然

和島の花「雪割草」

（3月～4月）可憐な雪割草は、清楚な姿ながら厳しい雪中に芽を吹く力強さを持ち合わせている。



和島の木「やぶ椿」

（3月～5月）妙法寺駅近くにある椿の森をはじめ、和島のあちこちで生ずるやぶ椿を観賞することができる。



ラベンダー畑

（6月～7月）ラベンダーの花摘み体験や、苗の販売、ラベンダースティック教室も開催されている。螢の観察もできる。



螢の群生地

（6月～7月）自然豊かな和島、螢が飛び交う時期にはあちらこちらで螢が見られる。

